

## 骨粗鬆症 診断・治療への取り組み



整形外科部長  
二瓶 医師

骨粗鬆症は日本における公衆衛生上の重大な課題となっています。40歳以上の女性約980万人、男性300万人が罹患していると推定されています。骨粗鬆症患者さんは骨密度と骨質に問題を生じ骨強度が低下し、脆弱性骨折(軽微な外力で発生する骨折)を起こしやすくなります。代表的な骨折として脊椎椎体骨折、大腿骨近位部骨折があり罹患することによって日常生活動作レベルの低下をきたし介護を必要とする生活を強いられます。大腿骨近位部骨折を例にとりますと、受傷された方はほとんどの方は手術が必要となり、高齢者を寝かせたままにしておくと、日に日に廃用が進み歩行機能は低下し死亡の危険性も高くなりますので、我々はなるべく早期に手術を行い、リハビリテーションを開始できる環境をつくる必要があります。また手術とならんで大切なのが術後の骨粗鬆症治療となります。しかしながら入院中の骨粗鬆症薬物治療開始は約20%というデータがあります。当院ではこうした現状を重くとらえ2014年以降の上記骨折患者さんの術後薬物治療開始を留意した結果、入院中の治療開始は約77%、術後1年での継続率は60%(当院、クリニック等他院での治療を含む)という結果が得られています。

次にビタミンDに関するお話です。ビタミンDは骨代謝、ミネラル代謝の維持において必須となる成分です。ビタミンD作用の低下は骨折の危険性を増加させますが、その原因と考えられている一つがビタミンD不足・欠乏となります。意外に若年者でも不足状態のかたが多いという結果です。仙台市の骨粗鬆症検診で受診される40・50歳代女性を例にとりますと充足状態の方は10%程度です。原因としては摂取不足、日照不足などが考えられます。2018年から保険で骨粗鬆症によるビタミンD採血(25(OH)ビタミンD)が認可されています。こちらでも早期に発見し必要に応じて食事療法、薬物療法の導入を開始していくことが大切だと考えています。

骨は全身に存在し骨密度が低下しても特に自覚症状はありません。骨折しはじめて痛みとして症状が出現するということを認識していただき、他の疾患と同様、早期発見・治療が大切であると考えます。



### お知らせ



9月23日より、当院3階に整形外科外来が移設し、より充実したスペースを確保いたしました。よろしくお願ひします。



待合箇所



診察室  
・  
処置室



3階受付

### 院内デイケア再開

8月27日、院内デイケアが開催されました。新型コロナウイルスの影響で、約半年間お休みしていましたが、少人数で感染症対策をしっかり行うことで再開することができました。

モニターを使用し、みなさんで体操や歌を歌ったり、壁飾りの工作をして過ごしました。久しぶりに歌が歌えて喜んでくださる患者さまもいらっしゃいました。



割り箸で作る  
壁掛け飾り



## 医療の豆知識 ～ご存じですか？レジオネラ肺炎～

レジオネラ肺炎という病気をテレビや新聞で耳にした方もいるのではないのでしょうか。これはレジオネラ属菌という細菌による肺炎で、主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入によって感染し発症します。人から人へ感染することはありませんが、乳幼児、高齢者、免疫低下者、喫煙者などでは感染すると重篤な症状になることもあります。

レジオネラ属菌は冷却塔、循環式浴槽（いわゆる24時間風呂）、循環式給湯器、加湿器、公園の噴水などで、古くなった水を取り替えないなど衛生管理が不十分な場合に増殖します。特にアメーバに寄生して増殖するので、高温多湿の環境下では注意が必要です。

家庭で加湿器を使用する時には毎日水を入れ替えて容器を洗浄したり、循環式浴槽では浴槽内の汚れやバイオフィーム（細菌で形成される「ぬめり」）が生じないように定期的に清掃したりすることで予防できます。

【衛生試験室 音羽 亮】



これから加湿器を使用する季節ですね。清潔に使用しましょう！



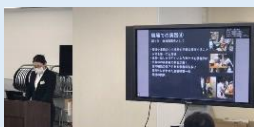
### 実践管理者育成研修報告会



実践管理者育成研修とは、JR 東日本グループで行われている研修です。内容は、次代を担う管理者として、また一人の企業人として具体的な行動につなげられるよう、自らの考え方を深め、各種スキルを学ぶものです。

9月11日、2019年度実践管理者育成研修の報告会が開催されました。例年ですと集会形式で報告会を行っていましたが、今回はoffice365を活用した新しい方法で報告会が開催されました。当院からは、看護師の阿部山 美里さんが参加し、研修中の学びや研修後の取り組みについて発表しました。

プラス思考は成績を向上させる！



### 2019年度 サービス品質優秀賞受賞

8月31日、仙台支社三林支社長より、サービス品質優秀賞が授与されました。当院では、院内スタッフへの認知症に対する理解を深めるための「院内デイケア」の開催や、院内の社員全員が「認知症サポーター」として、患者さまに対して専門的知識により積極的にお声がけする取り組みを行っています。また、認知症認定看護師は、当社社員やグループ会社社員に対しても認知症サポーターの役割や普及活動を実施しています。他にも、通勤時における電車内でのお客さまの急変に対する救護活動などを評してこの度の表彰につながりました。

今後も引き続きサービス品質の向上に努めて参ります。



認知症サポーターの目印です☆



《三林支社長との意見交換会の様子》

### 新任スタッフ紹介

氏名: 結城 梨(ゆうき しおり)  
職種: 看護師  
出身地: 宮城県  
趣味: バランピング

ひとこと: 患者さまとご家族の心に寄り添う看護を心がけていきます。よろしくお願ひいたします。



氏名: 小野 香澄(おの かすみ)  
職種: 事務  
出身地: 宮城県  
趣味: 旅行

ひとこと: 医療スタッフの一員として患者さまのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。



### 理念

高度で良質な医療と心のこもった患者サービスで地域社会に貢献し、調和のとれた企業立病院をめざします。

院 是  
調 和